

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 20,750~22,000円 TOPIX 1,660~1,760

\* 期待材料 堅調な企業業績 企業統治改革の進展

\* 不安材料 トランプリスク 貿易摩擦激化 安倍政権の弱体化 地政学的リスク

トランプ米政権による保護主義的政策の行方が大きな不透明要因となっている。特に、米中双方による関税引き上げの報復合戦が最大の懸念材料であるが、米国において秋の中間選挙を控え、中国においては国内の構造改革を優先する局面であり、貿易戦争を本格化させ、経済の失速、失業率の悪化、株式市場急落等を看過する可能性は低いものと思われる。貿易摩擦激化への懸念は今後も株式市場にとってマイナス材料となるものの、基本シナリオとしては、米中間の交渉を通じて、中国が知的財産保護の重視や政府補助金を通じた不当な産業育成政策の撤廃、抑制を打ち出すことで、実際の関税引き上げは回避される可能性が高いものと想定する。来週17日、18日には日米首脳会談が予定されている。3月22日のトランプ米大統領による『日本の安倍首相らは「こんなに長い間、米国をうまくだませたなんて信じられない」とほくそ笑んでいる。こんな日々はもう終わりだ』発言以来、初の直接会談となる。電撃的に米朝首脳会談の開催が決まった直後は、日米首脳会談の主要議題は北朝鮮政策のすり合わせになると思われていたが、貿易問題も大きな焦点になる可能性が高い。ここでトランプ米大統領にとって満足のいく貿易面での「ディール」が結べないようだと、今後、米政府高官らが日銀の金融緩和策や為替水準に対する不満について言及することで、円高、株安が進行することが懸念される。今週末にかけては、翌週の日米首脳会談を控えて外需系企業の株価については膠着感が一段と強まる一方、好決算を発表した内需系企業の株が選別的に物色される展開を想定する。(4月5日現在、多功 毅)

## 今週の予定

	国内	海外
4/9(月)	3月景気ウォッチャー調査 高島屋(8233)本決算(15:00) 黒田日銀総裁 2期目の任期開始	[米]NAB(~12日) 世界最大の放送機器展 [米]国家安全保障担当補佐官にポルトン氏就任 [北朝鮮]外相が訪露(~11日)
10(火)	3月工作機械受注(15:00) ABC マート(2670)本決算 J・フロントリテイリング(3086)本決算	[中]習近平国家主席が新たな対外開放策を説明 [露]ロシア・北朝鮮外相会談 [米]フェイスブック CEO が上院公聴会で証言
11(水)	2月機械受注(8:50) ローソン(2651)本決算 良品計画(7453)本決算(15:00) イオン(8267)本決算(16:00) 第43回 食肉産業展2018(~13日)	[中]3月消費者物価指数(10:30) [米]3月消費者物価指数(21:30) [北朝鮮]最高人民会議第十三期第六回会議 [米]FOMC 議事要旨(3月20~21日分) [米]フェイスブック CEO が下院公聴会で証言
12(木)	3月マネーストック(8:50) ファーストリテ(9983)2Q決算(15:00)	[韓]中銀、政策金利 [メキシコ]中銀、政策金利(27:00)
13(金)	マイナーSQ	[中]3月貿易収支
14(土)	クルーズスタイル2018横浜(~15日)	[米]JIS April 2018(~16日)
15(日)	王毅中国外相来日(~16日) 東京ディズニーランド開園35周年	[北朝鮮]太陽節 故金日成主席の誕生日 [米]財務省 為替報告書の議会への提出期限

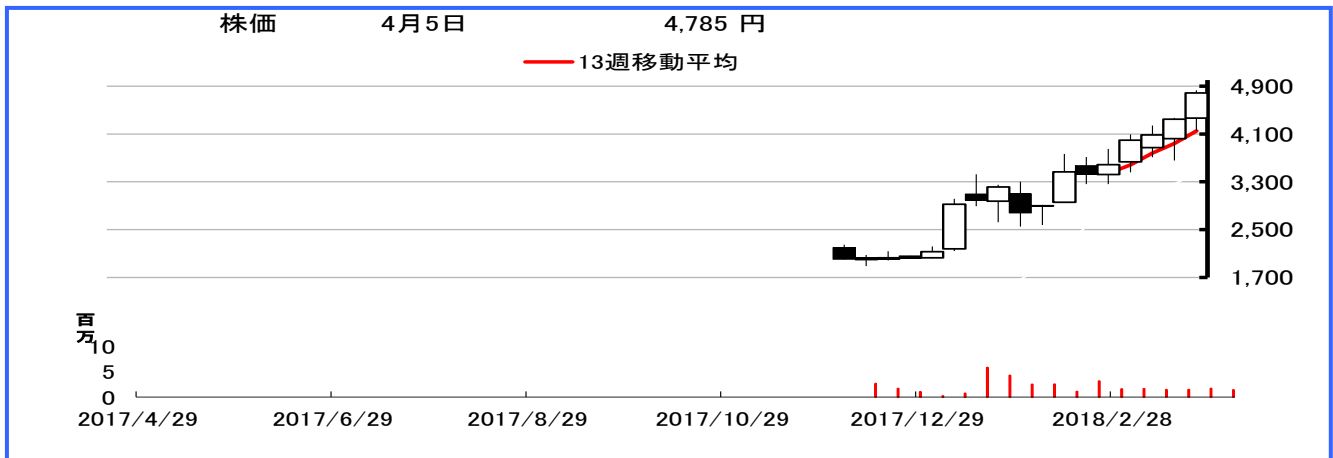
出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄

**HANATOUR JAPAN (6561)**

**東証マザーズ**



	16年12月期 (百万円) 前年比		17年12月期 (百万円) 前年比		18年12月期(予) (百万円) 前年比		株価(4/5)	4,785 円
売上高	5,111	10.6%	7,926	55.1%	9,441	19.1%	業種	サービス
営業利益	1,165	-6.6%	1,756	50.7%	2,146	22.2%	売買単位	100 株
経常利益	1,405	13.5%	1,886	34.2%	2,118	12.3%	PER(予想)	36.8 倍
当期純利益	942	4.3%	1,278	35.7%	1,430	11.8%	PBR(実績)	9.3 倍
EPS(円)	94.2		127.3		130.0		ROE(実績)	31.1 %
配当金(円)	0.0		20.0		未定		配当利回り(予想)	— %
							担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、説明会資料より

韓国の大手旅行会社 HANA TOUR サービスの日本法人。親会社のある韓国など向けに、定番ルートから個人ではなかなか行くことが難しい地方の観光名所まで、幅広い訪日ツアーを企画提供する旅行事業を核に、観光バスを124台保有(17年度末時点)し観光客を送迎するバス事業、福岡、大阪、札幌でドラッグなどヘルスケア用品や化粧品、おみやげを販売する免税販売店事業、宿泊需要を取り込むホテル運営など施設運営事業を行っている。17年度決算のセグメント別売上高比率は、旅行事業が32.6%、バス事業が23.9%、免税販売店事業が34.5%、施設運営事業が8.0%、その他1.0%になっている。利益面では旅行事業が全社の77.7%を稼ぐ主力事業。訪日ツアーの90%が地方向けで、ゴールデンルートは10%にとどまっており、九州、北海道、東北、北陸など人気エリアに加え、魅力的な地方の観光スポットを発掘し、周遊バスなどを使い短時間で効率的に巡るツアーの商品提案力が強み。17年度の旅行事業の売上のうち、69%が韓国向け。

17年度決算は前年同期比55.1%増収、50.7%営業増益。主力の韓国などから訪日旅行需要が増加。旅行事業が前年同期比60.0%増収、大型バスの保有台数を増やしたバス事業が48.1%増収、4月に札幌店がオープンした免税販売店事業が84.5%増収、施設運営事業が14.9%増収。18年度も主要事業の全てで増収増益を見込み、前年同期比19.1%増収、22.2%営業増益計画。バス増車や運営ホテルの増加、訪日ツアーの魅力アップなどで、韓国にとどまらず中国、東南アジア各国からの訪日旅行需要の取り込みを進める方針。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(4/5) 売買単位	コメント
<b>ツルハHD</b> (3391) 東証1部 15,290円 100株	得意の高機能、好採算商品の推奨販売が売上高、粗利益率をけん引している。3Qも既存店売上高が3.5%増、杏林堂連結前ベースの粗利益率で0.3ポイント向上し、人件費等のコスト増を吸収している。4Qはグループ化した杏林堂との統合コスト発生が見込まれるが、今回の修正後計画は違和感がなく、計画線での着地が想定される。来期については、杏林堂とのシナジー効果の発現、粗利益率の改善により増益基調の継続が期待される。(多功 毅)
<b>ジャパ ンミ ート</b> (3539) 東証2部 1,967円 100株	2Q累計決算は、野菜価格の高騰による影響に加えて、品不足による販売機会ロス発生の影響を受けたものの、繁忙期の12月は当社の強みでもあり特徴でもある精肉卸売事業が好調に推移し、6.6%増収、6.0%営業増益で着地。進捗率はほぼ前年並みだが、下期は前期にあった大型店の出店、M&A等が現時点では計画されておらず、上ブレ着地が期待される。今後も、スーパーを中心にM&A戦略を継続させる方針。(多功 毅)
<b>すららネット</b> (3998) 東証マザーズ 6,730円 100株	低学力の生徒が飽きずに学力を伸ばせるeラーニングの「すらら」を提供。中堅学習塾で「すらら」の導入が進み、17年度決算は前年同期比24.9%増収、47.5%営業増益。既存業態の変革プランや新塾業態の提案が奏功。学校向けも成績不振生徒の学力底上げに効果があることから採用が拡大。今期は前年同期比24.2%増収、30.0%営業増益計画。ローカル中堅学習塾や学校向けに「すらら」の採用増加が進む見込み。(松本 直志)
<b>SCREEN HD</b> (7735) 東証1部 9,220円 100株	3Q累計決算は前年同期比6.7%増収、11.6%営業増益。メモリ向け半導体製造装置が引き続き好調に推移するなかで、主要顧客のファウンドリー、ロジック向けも回復し、3Qの半導体製造装置の受注は前四半期比66.1%増の883億円に拡大し過去最高を更新。全セグメントの受注残合計額も前年同期比42.4%増の1,773億円に拡大。今後も半導体製造装置の受注は四半期で600~800億円くらいの高原状況が続く見込みで、18年度業績も好調に推移することが見込まれる。(松本 直志)
<b>しまむら</b> (8227) 東証1部 14,170円 100株	前期決算は、戦略的に進めた商品アイテム数の絞り込みや売り場構成の見直しを進めたものの、既存店売上高が低迷し、前年同期比0.1%減収、12.1%営業減益での着地。今期は、65周年記念キャンペーン効果、ポイントカード、電子マネー対応レジの順次導入による効果、採算性の改善及び競合に対する差別化を目的とした一段のプライベートブランドの拡充等により4.0%増収、18.9%営業増益を計画。(多功 毅)
<b>東急</b> (9005) 東証1部 1,722円 100株	二子玉川の再開発やインバウンド需要の拡大に伴うホテルの好調、鉄道ネットワークの改善により、17年度に営業利益750億円を目標にしていた前回中期経営計画は、830億円に上振れして達成見込み。18年度からの新中期経営計画では、渋谷のビル開発、南町田の大規模再開発、東京ベイ東急ホテルなど新規ホテルの開業が貢献し、20年度に営業利益970億円の達成が目標。郊外では生産年齢人口の減少が始まっているものの、東急沿線人口は渋谷やたまプラーザなどの再開発などにより2035年まで拡大し、事業拡大の追い風になる見込み。(松本 直志)

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室